

桜の花も満開を迎え、長い冬をじっと耐えて続けてきた草木が一斉に芽吹いてきた春うららかな今日の良き日、先ほど入学を許可しました二四〇名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、大阪府立堺上高等学校四十一期生として、本日から伝統ある上高の一員になりました。その輝かしい門出を心より祝福いたします。

保護者の皆様におかれましては、この晴れの日を迎えられますことは感慨も人一倍のことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

また、本日はご来賓としてPTA会長様、PTA役員の皆様ならび後援会会長様にご臨席を賜り、多数の保護者様のご列席のもと、大阪府立堺上高等学校第四十一回入学式を挙げていきますことは、教職員一同大きな喜びであり、高いところからではありますが、心より御礼申し上げます。

新入生の皆さんは、九年間にわたる小学校、中学校の義務教育を終えられ、これからは、自ら選択した高校生活を始めることとなります。

振り返ってみると、皆さんの小学生高学年から中学二年生までは、新型コロナウイルス感染防止対策のため、様々な行動制限がありました。しかし、昨年度以降、コロナ以前の高校生活にほとんど戻ってきております。油断すると、コロナやインフルエンザの集団感染はありますが、感染対策には十分配慮しながらも、勉強に部活動に、学校行事にしっかり向き合い、高校生活を有意義なものになるよう過ごしてもらえることを期待しています。今日から始まる高校生としての様々な体験が、皆さんの人生の力となります。この時期のたくさんの出会いが、人生の宝物となります。堺上高校の先生方は、皆さんを全力でサポートしていきますので、頑張ってください。

さて、プロ野球アメリカメジャーリーグ、ロサンゼルスドジャーズの大谷翔平選手を知っていますか。日本人として、アメリカで活躍していますが、もともとは、岩手県の花巻東高校という学校へ進学した一人の少年でした。その大谷選手が高校二年生の時に作った「人生の目標シート」というものにした言葉を紹介します。

「人生が夢をつくるんじゃない」「夢が人生をつくるんだ」という言葉です。岩手県の一人の高校生が、世界中で注目されるプレーヤーになっていることは皆さん知っていると思います。彼は最初から優れた選手だったのではなく、最初は皆さんと同じ高校生でした。しかし、夢を持ち、あきらめず努力を続け、今ではスーパースターになっています。

皆さんがこれから体験する高校時代は、だれもが、どんな大人になるのか、何になりたいのか、わからずに迷う時期でもあります。自分の夢というのは、将来なりたい自分を、自分の生き方を考えること、その実現に向かって、努力すること、このチャレンジすることが大切で、このチャレンジできるのが、高校時代なのだと思います。今だから出来るチャレンジ、今だから出来る前向きな失敗やつまずきを積み重ねて、なりたい自分を見つけてください。

もう一つ、漫画「ドラえもん」から、のび太くんの言葉を紹介します。
四十五年後ののび太くんが、タイムマシンに乗って、今ののび太君に語り掛けた言葉です。
「きみはこれからも何度もつまづく。でもそのたびに立ち直る強さを持っているんだよ」
ドラえもんは二十二世紀からやってきました。未来から来たのび太の言葉は、二十一世紀を
生きる皆さんへの言葉だと思います。失敗し、つまづいた時には、「立ち直る強さを持って
いる」、この言葉を信じて失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジし、高校生活を楽し
んでください。

最後になりますが、保護者の皆様に、お願いがございます。本日より、三年間、大切なお
子様をお預かりすることになります。本校の教職員が、お子様の教育に携わっていくにあた
り、この多感な時期、ご家庭と学校との連携が不可欠であることはいうまでもありません。
学校と保護者が互いに信頼し、それぞれの役割を確認し、協力することが、お子様の三年間
の学校生活を充実させる最善の方法だと考えております。今後とも本校教育活動に一層の
ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和六年四月八日

大阪府立堺上高等学校
校長 大門 史朗